

県内最大級の戦国時代を代表する山城

7 岩櫃城跡 (国指定史跡) [続日本100名城]

岩櫃城は、築城時期や築城者は不明ながら、中世に築かれたとされる山城で、文献に初めて登場する城主は、南北朝時代(1336~1392)の吾妻太郎行盛です。戦国時代の永禄6年(1563)、斎藤越前守藤広(基国)の本城であった岩櫃城は、武田信玄の家臣・真田幸綱(幸隆)によって落城されました。以後、東吾妻は武田氏、そして真田氏の支配地となり、岩櫃城は、上田城と沼田城を結ぶ真田道の中間拠点として最重要視され、上杉・北条・徳川といった巨大勢力に挟まれた真田氏の領国経営の拠点でした。徳川幕府の開設後も、岩櫃城は真田氏の城として使われてきましたが、慶長20年(1615)に徳川家康が発令した「一國一城令」によって岩櫃城は破却され、その役割を終えました。

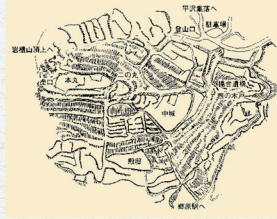


岩櫃城本丸址

25m×15mの建物の土台と思われる形跡があり、ここに岩櫃城の展望台と指揮台を兼ねた中枢部があったと考えられています。

要害地区地図

岩櫃城は、岩櫃山の中段東面に築かれており、城域の東端は香匠坂、西端は本丸から400mほどの場所とされています。本丸や中城などを擁する要害地区は、南面の切沢の谷と山越の斜面を自然の城壁としています。



上州吾妻郡岩櫃古城之図 ※長野県立歴史館蔵

国指定史跡 (令和元年10月16日指定)

岩櫃山周辺ガイドマップ



8 岩櫃山 ぐんま100名山

標高802.6メートルの岩山で、吾妻八景を代表する景勝地として知られています。南面は約200メートルの絶壁で、奇岩、怪石からなる切り立った山容は、中国の南面のような趣があり、1ぐんま百名山にも選ばれています。山頂からの眺望はすばらしく、眼下には東吾妻町や中之条町の市街地、眼前には上州の山々が広がり、新緑や紅葉のシーズンは多くのハイカーで賑わいます。



2 柳沢城跡 (観音山)

岩櫃城の北東、観音山頂上にある柳沢城は、岩櫃城の支城(出丸)と考えられ、「岩の要害」と呼ばれました。南東に向かって飛び出した先端の高所を主郭としています。

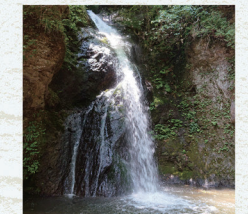
1 東吾妻町役場 & 東吾妻町コンベンションホール

あおぞら原町店、あまの郷本店、やまもと商店、川口製菓原町店、中央公民館、健康センター、八坂神社、切原町赤十字病院、群馬県立総合医療センター、群馬県立総合医療センター、群馬県立総合医療センター



3 観音山不動堂

百基の観音が祀られていたと伝わる観音山の麓にあるお堂です。観音山の登山道には、石門や岩窟、金を掘ったといわれる洞窟があります。



4 観音山不動滝

不動堂脇の崖上から力強いしずきを上げる大滝です。四季を通じて滝の流れは途絶えませんが、冬には滝の流れの一部が氷の彫刻へと変化します。



6 岩櫃山平沢登山口観光案内所

各種パンフレットをそろえ、スタッフが岩櫃山周辺を案内してくれます。電話番号: 0279-26-7088 開館: 4月~11月末予定(9:00~16:00)



5 コニファーいわびつ

URL: http://www.iwabitsu.co.jp/ 岩櫃山中腹にあるリゾートホテルです。吾妻峡温泉の露天風呂の大浴場をはじめ、キッズ広場やテニスコート、グラウンドゴルフ場など、施設も充実しています。サービス: 宿泊、日帰り入浴、食事 電話番号: 0279-68-5338



1 東吾妻町役場 & 東吾妻町コンベンションホール

URL: http://www.1.town.higashigatsuma.gunma.jp/ 平成31年1月4日より役場本庁舎が移転しました。最大432名が収容できるコンベンションホールは、椅子を取替すればフライトなフロアとなり、イベントに芸術活動と多彩な活動が期待されます。館内すべてが文化の香り溢るに包まれた格調高いスペースです。岩櫃城跡からつるぎの淵は、平成29年3月13日に指定されて国史跡となりました。長い戦国を戦った歴史がここに息づいています。



9 鷹の巣岩陰遺跡 (町史跡)

再葬墓と呼ばれる弥生時代の墓の可能性が指摘されている遺跡で、弥生人の人骨と土器、竈などが出土しました。岩櫃山の頂上南面から20m程下った崖壁に開口しています。



10 潜龍院跡

潜龍院は天正10年(1582)3月、真田昌幸が敗走する武田勝頼を迎え、武田の再興を図るために急造した隠れ寺です。しかし、勝頼は当地に来ることなく、天目山で自刃してしまいました。

地図編纂 (株)山と溪谷



岩櫃山 おすすめコース

岩櫃山は、どの登山口からも1時間程度で山頂に到達でき、時間に追われず登山が満喫できる山です。その一方、登山道には岩場や鎖場(誘導用の鎖を伝う場所)も多く、山頂も鎖場を登った大岩の上にあります。山道に適した動きやすい服装、歩きやすいトレッキングシューズや登山靴で、山歩きを楽しんでください。

岩櫃山の登山道

- 沢通り** (平沢登山口より) 岩櫃山への代表的なルートです。淵沢の石場がありますが、ハイキング的な散策が楽しめます。【約60分 約1.4km】
- 尾根通り** (平沢登山口より) 岩櫃城跡を通る東吾妻の歴史に触れるルートです。尾根沿いの木々の間からは、吾妻川沿いの町並みが見られます。【約60分 約1.7km】
- 赤岩通り** (赤岩登山口より) 赤岩通りを迂回するような、広葉樹林の中を歩くルートです。途中には郷原城跡があります。【約55分 約1.5km】
- 密岩通り** (密岩登山口より) いちばん険しい中・上級者向けのルートで、鎖場や岩穴、岩場があります。*天狗の架け橋は迂回路を通行してください。【約45分 約0.8km】

- JRで岩櫃山へ** JR 郡原駅 → 古谷T字路 → 密岩登山口(密岩通り) → 尾根通り → 天狗の架け橋 → 鷹の巣岩陰遺跡 → 御殿 → 岩櫃山山頂 → 九合目 → 樺の口 → 赤岩通り分岐 → 岩櫃城本丸址 → 尾根通り分岐 → 平沢登山口 → 観音山入り口 → 岩櫃山 → 岩櫃城跡入り口 → JR 群馬原町駅
- 岩櫃山駅ラックコース** 時間: 約2時間 難易度: ★★ JR 郡原駅 → 古谷T字路 → 赤岩登山口(赤岩通り) → 旧道分岐 → 赤岩通り分岐 → 樺の口 → 九合目 → 岩櫃山山頂 → 九合目 → 樺の口 → 赤岩通り分岐(赤岩通り) → 旧道分岐(十二様通り) → 郷原城跡 → 潜龍院跡(赤岩登山口) → 古谷T字路 → JR 郡原駅
- 車で岩櫃山へ** 岩櫃山往復コース 時間: 約2時間 難易度: ★★ 平沢登山口 → 尾根通り分岐 → 本丸址分岐 → 樺の口 → 九合目 → 岩櫃山山頂 → 九合目 → 樺の口(尾根通り) → 赤岩通り分岐 → 岩櫃城本丸址 → 尾根通り分岐 → 平沢登山口
- 城址と岩櫃山コース** 時間: 約2時間30分 難易度: ★★★ 平沢登山口 → 尾根通り分岐 → 岩櫃城本丸址 → 赤岩通り分岐(赤岩通り) → 旧道分岐(十二様通り) → 郷原城跡 → 潜龍院跡(赤岩登山口) → 古谷T字路 → 密岩登山口(密岩通り) → 尾根通り分岐 → 天狗の架け橋 → 鷹の巣岩陰遺跡 → 御殿 → 岩櫃山山頂 → 九合目 → 樺の口 → 本丸址分岐(沢通り) → 尾根通り分岐 → 平沢登山口

凡例	
	お土産処
	お食事処
	駐車場
	トイレ
	登山口・分岐
	ピュースポット
	登山口までのルート
	真田道
	国道
	県道

この地図の作成に当たっては、国土地理院院長の承認を得て、同院発行の地形情報(国土地基本情報)電子国土地基本情報(地形情報)、数値地形(国土地基本情報)電子国土地基本情報(地名情報)及び数値地形(国土地基本情報)地形情報(数値地形)を使用した。(承認番号: P2700後、第165号)